

糖尿病重症化予防(フットケア)研修 Ver.7

目的 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と技術を身につける

目標

- 糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する
- 糖尿病患者への足病変の病態生理、治療を理解する
- 糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ
- 糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ
- 糖尿病性足病変を予防するためのセルフケア支援について理解する
- 予防的フットケアを実施するためのシステム構築について考えることができる

平成 20 年 6 月 2 日作成(Ver.1)
平成 22 年 9 月 1 日改定(Ver.2)
平成 28 年 7 月 1 日改定(Ver.3)
平成 29 年 2 月 5 日改定(Ver.4)
令和 1 年 7 月 20 日改定(Ver.5)
令和 8 年 1 月 9 日改定(Ver.7)

研修日	テーマ	ねらい	内容	(テキスト参照章)
1日目 講義 1 (40 分)	糖尿病患者の療養を支えるフットケア	糖尿病や足の状態を捉え、セルフケア状況を含め評価(アセスメント)したうえで、適切なフットケアの方法を考え、セルフケア支援を継続的に実施するプロセスとしての糖尿病看護におけるフットケアの意義を理解する。さらにフットケアにおけるリスクマネジメントについて理解する。	1.看護としてのフットケアの意義 2.糖尿病看護におけるフットケアの特徴 1)予防的なフットケア 2)療養を支えるフットケア 3)チームで支えるフットケア ・チーム医療の必要性 ・多職種連携、地域連携における看護師の役割 3.フットケアにおけるリスクマネジメント 1)リスクマネジメントの基盤となる多職種連携 2)感染管理、予防 3)フットケア技術の維持・向上	1章・9章
講義 2 (100 分)	糖尿病患者の足病変 ～病態生理から治療まで	糖尿病性足病変の病態生理、検査、治療について理解する。	1.糖尿病性足病変の病態生理 1)糖尿病性足病変とは 2)糖尿病性足病変の発生メカニズム ・糖尿病性神経障害 ・末梢血管障害 ・身体防御機能の低下 ・皮膚のバリア機能と損傷 3)足病変に影響を及ぼす合併症 2.糖尿病性足病変の検査 ・糖尿病性神経障害の検査 ・血流障害の検査 3.糖尿病性足病変の治療	2章・3章
講義 3 (90 分)	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント①	糖尿病患者の足の状態、全身状態、生活状況、セルフケア状況を捉え、患者の足の状態と取り巻く背景を含めてフットケア記録用紙を活用したリスクのアセスメントについて理解する。	1.アセスメントとは 2.フットケアのためのアセスメント 1)記録用紙の意味と使い方 2)足の状態を捉える 3)全身状態を捉える 4)生活状況を捉える 5)セルフケア状況を捉える 3.フットケア記録用紙の活用とハイリスク評価	3章・6章
実技演習 1 (100 分)	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント	糖尿病患者へのフットケアにおける足の状態のアセスメント及び、足病変のリスク評価の技術を習得する。	1. デモンストレーション(研修担当) 2. 参加者がペアになり演習 1)足の状態の把握 ①足の外観と全身の状態を捉える ②糖尿病性神経障害の把握 ③血流障害の把握 2)生活状況の確認 3)フットケア記録用紙の活用 4)足の状態をアセスメントし足病変のリスクを評価する	4章

講義 4 (30 分)	糖尿病患者のフットケアのためのアセスメント②	足病変リスク評価のアセスメントとアセスメントの統合、課題抽出について理解する。	★事例演習前にプログラムする場合 足病変リスク評価のアセスメントとアセスメントの統合と課題の抽出過程を解説する ★事例演習後にプログラムする場合 足病変リスク評価とアセスメントの統合について、演習事例を解説する 課題の抽出過程と課題について演習事例を解説する	6 章・7 章
講義 5 (100 分)	フットケアの実際～足病変の予防、フットケアに必要な技術とセルフケア支援	糖尿病患者の置かれている状況やリスクの評価を基に、その患者に適したフットケアの実践ができ、セルフケア支援につなげる。	1. 適切なケア方法の検討 1) 足病変の予防方法 2) フットケアに必要な技術 3) 足病変へのケア方法 2. セルフケア支援 1) なぜセルフケアが必要か 2) セルフケア支援の進め方 3) セルフケア支援のポイント 4) 身体の障害に応じたセルフケアの工夫	4 章・5 章
事例提示 (10 分)	事例分析と評価①	事例の理解を深めることにより事例演習での学びを深める。	事例の提示とその説明	
2日目 実技演習 2 (120 分)	フットケアの実際～足病変の予防、フットケアに必要な技術とセルフケア支援	糖尿病患者の足病変予防のためのフットケア技術を経験し習得する。	1. デモンストレーション(研修担当) 2. 参加者がペアになり演習 1) 患者の足を見る、触れる 2) アセスメントをする 3) 必要なケア内容を検討する 4) 処置を行う ① ゾンデの使用方法 ② ニッパー、ヤスリによる爪のケア ③ コーンカッターの使用方法 ④ レデューサーの使用方法 ⑤ 保湿 5) セルフケアに向けての支援	3 章・4 章・6 章
事例演習 1 (130 分)	事例分析と評価② アセスメントと問題点の抽出	足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する-アセスメントから問題点を抽出する。	事例検討(グループディスカッションと全体討議) ・事例として提示された情報から、足の状況、全身状態、生活状況、セルフケア状況の視点でアセスメントする。 ・各アセスメントを統合し、事例の全体性を捉える ・看護問題(患者の課題)を抽出する	3 章・6 章・7 章
事例演習 2 (120 分)	事例分析と評価③ ケア計画立案	足病変のハイリスク状態にある糖尿病患者の事例を通してフットケア計画を立案する-看護問題から課題と具体的なフットケア方法を立案する。	事例検討(グループディスカッションと全体討議) ・看護目標(長期目標、短期目標)を立てる ・看護計画を立案する(OP,TP,EP) ・評価の視点を設定する	4 章・5 章・6 章・7 章
アクションプラン (60 分)	今後の糖尿病重症化予防(フットケア)の活動に向けた	チーム医療の中でフットケア活動を展開する方法を考える。	事前課題で作成したアクションプランをもとに以下についてグループ内でディスカッションを行う。 ・自施設における看護師の行うフットケアの役割・位置づけ ・自施設内の連携 ・フットケアにおけるリスクマネジメント、感染管理	8 章・9 章
講義 6 (60 分)	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題	糖尿病重症化予防におけるフットケアの評価と今後の課題を理解し、予防的フットケアを実践するためのチーム及びシステム作りを考える。	1. 平成 20 年度診療報酬における糖尿病重症化予防(フットケア)の位置づけ 2. 糖尿病合併症管理料の評価獲得における活動 3. 糖尿病合併症管理料(基本的な考え方、算定対象、要件等)とその後の変更 4. 予防的フットケア実践のためのチーム医療とシステム作り	資料